



議会だより

2007

平成19年

10月25日発行

No.106

○発行...太良町議会編集委員会

○〒849 1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954 67 2151

○<http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



改選された新議員

挨拶

去る7月に、町議会議員の改選がありました。

今までは、十六人の議員でありましたが、今度の改選から、十二人の議員構成になりました。意を新たに、町民福祉の向上発展と、生活の安定をめざし、町民の負託に応えるよう議員一同努力致します。

議員	副議長	議長
木下 繁義	下平 力人	坂口 久信
山口 光章	末次 利男	
久保 繁幸	見陣 泰幸	
川下 武則	牟田 則雄	
平古場 公子	山口 厳	
所賀 廣		

新議長

坂口久信

新任の挨拶



この度、町議会議員選挙後の初議会において、議員の皆様のご推挙をいただき、引き続き議長の要職に就任することになりました。

身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さをひしひしと感じているところでございます。

現在地方自治体は、税収不足、地方交付税削減等安定した歳入確保が難しい中で、少子・高齢化への対応や地域の活性化等、課題は山積しております。

このような現状を踏まえ、議員各位と共に町政発展のため、また安心して暮らせる町づくりのために、粉骨砕身する覚悟でございます。

今後とも、皆様方のあたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさついたします。

所属委員会一覧

議会運営委員会

委員長 木下 繁 義
 副委員長 見 陣 泰 幸
 委員 山 口 光 章
 末 次 利 男
 久 保 繁 幸

総務常任委員会

委員長 末 次 利 男
 副委員長 見 陣 泰 幸
 委員 坂 口 久 信
 久 保 繁 幸
 平古場 公 子
 所 賀 廣

経済建設常任委員会

委員長 山 口 光 章
 副委員長 木 下 繁 義
 委員 下 平 力 人
 川 下 武 則
 牟 田 則 雄
 山 口 嚴

9月定例議会

主な議題

9月7日～9月18日まで12日間
補正予算19,141千円の追加

町内8カ所の公共施設が 指定管理者制度の導入

平成十八年度町立太良病院事業会計継続費精算報告

総事業費は、二十二億八千八百七十九万七千七百四十円。

財源内訳は、企業債十六億九千四百十万円、国、県補助金七千八百七十三万三千円一般会計出資金四億二千七百四十五万七千円、損益勘定留保資金八千五百五十八万九千七百四十円。

政治倫理の確立のための太良町長の資産等の公開に関する条例の一部改正

政治倫理の確立のための国会議員の資産等の公開等に関する法律の一部改正に伴う改正。

太良町個人情報保護条例の一部改正

郵政民営化法等の施行に伴う条文中の文字整理。

町税条例の一部改正

軽自動車税の納期は十九年度までは四月中だったが来年度二十年度から五月中に変更になり、なお賦課期

日はこれまでどおり四月一日である。

町内指定管理者制度導入に伴う条例

- ・太良町中山キャンプ場
- ・太良町自然休養村管理センター
- ・太良町農村公園
- ・太良町健康の森公園
- ・竹崎城址展望台公園
- ・太良町特産品等展示販売所の設置及び管理に関する条例の制定。

・太良町体育施設
・太良町B&G海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部改正。

太良町の「公の施設」において、指定管理者制度の導入に対応できるよう所要の改正を行ったもの。

佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更に係る協議について

地方公共団体の数の減少による規約の変更。



佐賀県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更

地方公共団体の数の減少による規約の変更。

平成十九年度道越地区広域漁港整備事業二号防波堤、新設工事請負契約の締結

請負金額八千四百九十三万三千五百五十円。
契約者株式会社肥前建設代表取締役川島新一。

平成十九年度一般会計補正予算

主なものは歩行者安全照明灯設置工事費二百万円。ガザミ畜養試験委託料二百四十九万九千円。

国道と広域農道連絡道路設計委託料百六十三万円、以上三事業はJR振興策で取り組むもの。

県西部広域環境組合等負担金百五十七万七千円。津ノ浦消防格納庫、詰所新築補助金三百七十二万円。

愛知県在住山崎直人氏の寄附で多良小学校図書購入費五十万円。津ノ浦公民館新築補助金

二百万円、合計千九百四十四万円補正増、補正後の総額は歳入歳出四十七億千六十七万七千円。

平成十九年度老人保健特別会計補正予算

支払基金交付金の医療費交付金千五百二十九万円、審査支払手数料交付金五十六万二千円、国庫負担金医療費負担金二千四百九十九万二千円、県負担金の医療費負担金七十四万七千円、追加補正。

過年度分医療費精算による繰越金の四百四十二万円の追加補正は前年度決算剰余金。

歳出の主なもの一般会計繰出金三千七百七十五万円の追加補正は過年度分の精算による繰出・補正後の総額は歳入歳出十六億千七百七十五万円。

平成十九年度国民健康保険特別会計補正予算

主なものは、医療給付費交付金の千四百七十七万円の追加補正は、過年度分精算。

繰越金の五千五百四十三万九千円の追加補正は、前年度決算剰余金。

歳出の主なもの、一般会計繰出金の五十六万六千円の追加補正は、過年度分国民健康保険事務費繰入金の精算。

予備費については、六千九百六十四万三千円を追加予算措置。

補正後の総額は、歳入歳出十八億四千五百二十万九千円。

平成十九年度山林特別会計補正予算

繰越金三百一十一万三千円の増額補正と積立金百四十万円及び予備費百七十一万三千円の追加補正。

平成十九年度町立太良病院事業会計補正予算

通所リハビリテーション事業費用のうち、人事異動に伴う給与費百四十五万五千円の減額、利用者送迎用の燃料費三十二万二千円の増額。

平成十九年度太良町漁業集排水特別会計補正予算

前年度繰越金二百六十三万七千円を一般会計へ繰出すための予算措置。

一般質問

四議員がアタック 町政へ



ゆたたり 豊足橋



老朽化した橋梁の対応、対策は。

山口 光章 議員

答 早急に安全保護対策として検討していきたい。

山回 多良川においては橋梁が七ヶ所あり、各地域の重大な交通の要でもある。

昭和二十八年に建造された瀬戸、片峰線の豊足橋は五十年以上の年月が流れ、老朽化が激しい状態だ。

台風、災害時においても非常に危険性が高いと思うが、今後の安全対策は。

町長 今後の対応としては

必要に応じ橋梁の耐久性診断等を実施し、危険な箇所は補強をし、車両の重量制限や歩行者等の安全対策などを検討していきたい。

山回 幅員が三・一八m非常に狭い面もあり、車の離合にも不適切でその上手すり非常に低い、子供達の自転車の通行、幼児の通行、歩行、危険性が高いと思うが、担当課の感じかたは。

建設課長 台風とか大雨時には通行止めとして安全な橋梁を利用してもらい、財政的なこともあるが、安全な橋梁対策として現場等を十分調査して対応していきたい。

山回 五十年以上の歳月がたった橋梁ともなれば、西村町政、杉崎町政、百武町政の時代に検討するべきではなかったのか。

建設課長 厳しい財政状況の中ではあるが、上司とも十分協議をしながらその対応には検討していきたい。

たい。

山回 とにかく安全な対策を考えるべきではないか。

町長 早急に、安全対策とすることで来年あたり検討していきたい。

住宅、団地の管理について

山回 町営住宅においての老朽化はもちろん修繕するところなどが目に見えている。

雨災害による雨漏り、その湿気におけるカビ、またハトなどの被害、その対応と管理は担当課ではどのようにやっているのか。

町長 現在のところ、建設課が、現場の調査を実施し必要に応じて、修理等をして対応している。

老朽化は十分わかっているが、修復するには多大な費用が必要であり財政等を考慮しながら年次計画を立てて対応していきたい。

湿気によるカビやハトの対応についてはそれぞれ

れの入居者で対応するようをお願いしたい。

山回 修理の面ではどこまでが、個人の負担なのかわからない。

入居者の中には足の不自由な人、老夫婦などがあるが、その人達では対応できにくいと思う。

台風が去った後でもすぐに、担当が見て聞いてまわるなどの心配り、住民サービスが必要とすると思うが。

建設課長 検討していく。

山回 栄町区にある一戸建住宅の家賃はいくらか。

建設課長 二千円と、五千七百円だ。

山回 住宅の払い下げの考えは。

町長 払い下げについては昨年度から県と打ち合わせで協議をしている。

山回 二〇〇七年佐賀高校総体における我が町の反省点などを報告せよ。

町長 反省点はあまりない。スムーズな大会運営ができたと考えている。

山回 太良町に人が集まることは良い事、スポーツ

の面などでも、宿泊施設とその環境の整備を万全にするべきだが。

公民館長 かなり最近は多くの方が利用していると思う。

身障者、車いす利用者の対応は

山回 公民館などは人が集まる場所、休養村センターなどのトイレは身障者、車いすの人達には不向きではないかと思うが何か計画でもあるのか。

町長 財政状況を見ながら検討課題としていきたい。

山回 車いすの人達はどのようにして役場の二階、あるいは町長室、三階などに行くのか。

町長 基本的には、体の不自由な方や、車いすの方が来られた時は、私もふくめて担当職員が一階までおりてきて対応するようになっている。

山回 身障者の人達はマイナスからのスタートだと感じる、プラスになるためには、設備を整える事だ。

役場にも行きたくない、公民館にも寄りつきにくいというところもある。その対応は十分にできるか。

町長 そちら辺の対応を今後は十分に考えていきたい。



農業問題について

見陣 泰幸 議員

答 農業団体と協議し、特産地化を推進している。

見陣 現在、日本の農業は海外からの輸入等で非常に厳しい状況におかれて、今後の農業をどう考えているのか。

町長 ミカンがカナダへ毎年四〇〇トン前後輸出されており供給過剰な時期に数量の調整用として位置づけられている、農業団体と協議し、事業を創設して特産地化を推進している。

見陣 国内への輸入農産物は、果物類、野菜類、穀物類で、どういった品種があるのか。

町長 果実は、バナナ、グレープフルーツ、パイナップル、オレンジ、レモン、メロン、野菜はタマネギ、カボチャ、カリフラワー、ネギ、キャベツ、ゴボウ、穀物は、トウモロコシ、小麦、大麦などがある、日本の食糧自給率が三十一のうち、主食用穀物の自給率は六十一と低く今後食料の輸入が増加するものと思われる。

見陣 町内特産物の海外進出については。
町長 町内はわからないが、JAさが定期的に出荷

されている品目は、和牛が一ヶ月に二回、二十頭分の部分肉が香港に、JA伊万里の梨が年間中国へ五トン、台湾へ一トン、米が香港へ一トン、と少量であり、近年は、安心安全な作物を地産地消することが消費者のニーズであり国内の消費に重点を置かれているようである。

見陣 農業に対して補助事業は主になどのような補助があるのか。
町長 国の事業は、中山間地域等直接支払交付金、ミカン改植基金事業、県は、魅力あるさが園芸農業確立対策事業、死亡獣畜処理対策事業、さが畜産自給力強化対策事業、町単独事業は、太幸わせ増産対策事業、繁殖雌牛優良牛導入事業、園芸施設整備事業等であり、基本的に国、県の事業で、できないものに対して農業団体と協議し特産地化を推進している。

見陣 町内の農業の実態と状況をしりたい。
農林水産課長 二〇〇五年の農業センサスによれば、耕作面積が一、一八〇ヘクタール、耕作放棄地一

六六ヘクタール、農家戸数一〇〇二戸、そのうち三〇アル以上が八一二、うち専業農家二三八戸、第一種兼業が一六一戸、残りは二種兼業および自給的農家である。
年齢別は、三十歳以下五十九人、五十歳以下三百二人、五十〜五十九歳まで二百八十三人、六十歳以上九百五十四人、六十五〜七十五歳まで五百六人と高齢化が進んでいる。
見陣 今後の対策についての考えは。
農林水産課長 国は、品目横断的経営安定事業を進めているが規模が大きく町内では利用できない状況で、太良町としては、県、農業団体と協力して、新規農業参入者の可能性を探っていく考えだ。

今後の対応について
見陣 今後の対策について
農林水産課長 国は、品目横断的経営安定事業を進めているが規模が大きく町内では利用できない状況で、太良町としては、県、農業団体と協力して、新規農業参入者の可能性を探っていく考えだ。

今後どのような作物の品種を推進されるのか計画があるのかを問う。
農林水産課長 現在、カボチャ等も積極的に推進しており、イチゴについてはこのまま伸ばして生きたいと思っている。
今後の作物の選定については、生産者、農協等と十分協議をして考えていきたい。

見陣 地産地消について今後の考え方を聞きたい。
農林水産課長 給食センターに町内産の食材をできる限り利用したい、また農産物直売所の活用を考えている。
見陣 キャトルステーションについて内容を聞きたい。

農林水産課長 子牛の共同育成施設のことをキャトルステーションと呼んでおり、三〜四ヶ月の乳離れした子牛を預かり、市場に出荷するまでキャトルステーションで飼養するいわば保育園のような施設である。
見陣 キャトルステーションについてどこまで話し合いが進んでいるか。

農林水産課長 話し合いをする前に、太良町肉用牛検討委員会を五月に立ち上げ現在稼働をしている。志岐市に視察に行き、まだこれから畜産農家と検討委員会が十分な協議をしていく段階である。
見陣 これから先、現場で働く生産者と話し合う機会を作っていたらいいと思うが。

町長 机上での論法より実際の声を聞くことをモットーにしており、今後とも時間の許す限り率先して出席していくつもりだ。

輸入品目

輸入	品目	数量(単位トン)
果 実	バナナ	1,066.873
	グレープフルーツ	205.961
	パイナップル	155.426
	オレンジ	115.433
	レモン	76.686
	メロン	38.995
	アボガド	28.150
	サクランボ	12.363
	マンゴウ	12.139
穀 物	ブドウ	10.955
	とうもろこし	16,656.000
	とうもろこし飼料用	12,418.000
	小麦	5,472.000
	大麦	1,430.000
	グレインソルガム	1,403.000
	米	787.000
	ライ麦	282.000
	そば	85.000
野 菜	オート	64.000
	たまねぎ	357.544
	かぼちゃ	121.732
	にんじん、カブ	101.275
	キャベツ	68.725
	ブロッコリー	60.511
	ごぼう	57.643
	にんにく	30.268
	アスパラガス	17.469
えんどう	11.631	
トマト	5.894	



有明海再生について 赤潮多発は諫干締め切りでは？

久保 繁幸 議員

答 多くの原因が考えられる

久保 有明海では八月に入ってから平成最大規模の赤潮が発生し魚介類が大量に死滅したが、赤潮発生は諫早湾干拓の締め切りが原因と考えないか。

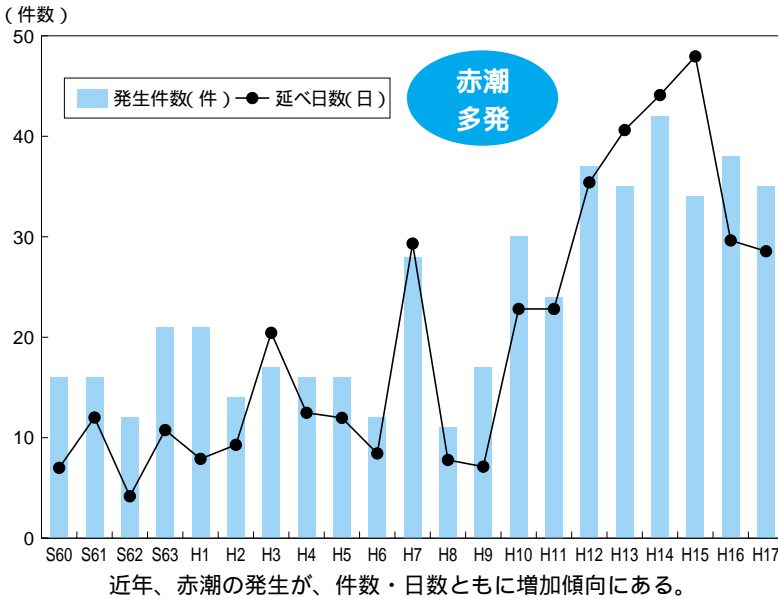
町長 総合調査評価委員会報告では諫干締め切りの影響について、潮流の流速の低下等はしているが、定量的な評価はしていない。

久保 締め切りにより調整池にできた汚水を排出する事が赤潮発生と関係が考えられないか。

町長 魚介類に被害を与えている赤潮は、富栄養化と貧酸素水塊が関係している」と委員会報告書には記載してある。

久保 赤潮発生は自然現象であるが、ギロチンは人為的に造られた物でありこの問題を解消させる為には排水門を常時開放させるべきと考えるが、太

有明海の赤潮発生状況経年変化



近年、赤潮の発生が、件数・日数とも増加傾向にある。

農林水産課長 今後の検討課題としたい。

町長 生活排水と赤潮発生との因果関係は、はっきりしていないが、生活排水が浄化できれば、赤潮

久保 赤潮発生には生活排水対策等の遅れも起因していると考えられているか。

久保 合併浄化槽の普及率が我が町は二十三%と低く、毎年二十基位の設置であるが、全戸設置はあと何年かかる予定か。

環境水道課長 九十五年かかる計算になる。

久保 海底耕うんが今年も県・国で二回行なわれたが、今後の実施計画はどのようにになっているか。

農林水産課長 平成二十年度は県事業で四百ヘクタールを計画されており、今後漁協と協議して要望をして行く予定である。

久保 J R 振興策でヤワラガニの畜養試験の支援事業はどのような計画か。

農林水産課長 屋内試験と屋外試験の二つの方法を考え、屋外は元の養殖施設の跡地利用で、漁協が主体の予定である。現段階ではデータがな

いので畜養の適正密度、品質、労務、構造等についてデータを採取する計画で県の水産振興センターの助言を受けながら行なう予定である。

久保 先進地の視察を行なってはどうか。

農林水産課長 昨年町長又、県の水産関係職員と天草へ研修に行ってきた。

町立太良病院について

久保 地域の中核病院として昨年四月一日にオープンした町立病院であるが現在でも院内に患者満足チーム、接遇チーム、収益確保チームはあるか。

病院長 今でも活動中。

久保 患者の満足度はどうか。

病院長 満足、不満足両方おられるので、満足度百%を目指して頑張る。

久保 当初立案された損益計算書どおりに運営ができていくか。

病院長 当初の計算よりも二億五千六百万円程の減になっており純損失は二億七千二百万円程度となっている。

久保 危機管理体制はどのようなシステムになっているか。

病院長 防災は年二回火災避難訓練を実施し、防犯は午後七時には時間外出入口一ヶ所を除き、全館出入口を閉鎖し、医療事故防止対策は、毎月一回医療安全対策委員会を開催して防止策を検討し情報を共有して実行しており、年二回は全職員を対象に医療安全対策研修会を実施している。

久保 高度医療機関との連携はどうか。

病院長 対応できない患者は嬉野医療センター等へ転送している。

久保 新病院建設前にコンサルタントの経営診断を受けられた時「親方日の丸の見本」といわれたが改善は見られているか。

病院長 まだ十分抜け切っていない所が職員全員にあると考えている。

久保 診療科目別の医療収支又科目ごとの目標はどのようにされているか。

病院長 資料や目標的なものは作っていない。

久保 町立太良病院の人員費比率はどれ位か。

事務長 六十六・八%で六十%を超えると赤信号の認識は持っている。



行財政改革の内容を示せ

末次 利男 議員

答 より一層の改革に取り組む

宗次 国の三位一体改革の

新地方行革指針により、更なる推進に向け、住民にわかりやすく明示した計画が求められている。

着実な改革による分権型社会の実現に向けた内容はどうか考えているか。

町長 財政の健全化、効率化を図り、分権型に対応した自助努力による生き残りを模索しながら改革を進めている。

宗次 一層の定員純減、市場価値テストの積極活用、公共サービス改革等、二〇〇六骨太方針を踏まえたものである。

まずは組織機構改革からと思うが。

総務課長 複雑多様化する町民の価値観や行政ニーズの対応と、組織の簡素化や職員の削減が求められている。

宗次 総論ではなく、具体的な改革の行程表はあるか。

総務課長 役場のプロジェクトチームで鋭意検討を重ね、今年度十二月議会に組織機構の見直しを提案する。

宗次 行財政運営上、財源不足を生じた際の財源と

しての基金と起債は。

町長 年度間の財源の不均衡の調整、公債費の計画的償還、特定の行政目的の基金と定額運用基金があり、十八年度末四二億二千八百二十五万円、起債は、一般会計四八億四百二十七万三千元、特別会計、企業会計で二四億八千四百八十八万三千元であり、基金と起債は総合的抑制を図り、将来の財政負担に備える。

宗次 平成十四年ペイオフ解禁により、基金の集約と安全な国債運用が図られたが、金融は安定し利率も上向している。

今後の運用の考えは、収入後、〇・三五から〇・七の利率の預金状況であり、国債は〇・二と〇・三である。

副町長 検討する段階に来ていると思う。

宗次 山林育成基金は取崩しの一途である。

かつて災害復旧、学校建設等木材の売上で町は救われた時代がある。

直営林の半分近くが主伐林分であり、治山治水観点から適正管理による

主伐事業への取組みは。 **農林水産課長** 山林運営委員会に諮りながら、前向に取り組みたい。

宗次 高齢者貸付牛基金は昭和五十二年設立され三十年経過したが、繁殖牛振興に有効な制度と評価している。

繁殖障害、事故等での廃用による基金欠損金はいくらか。

町長 事業の優先順位等勘案し、県と調整の上最大



国道207号線とJR長崎本線

農林水産課長 六十頭で千三百三十一万六千円である。

JR振興策について

宗次 JR長崎線経営分離

同意による振興策は、各分野で具体化し実施されると思うが、来年度に向けた施策は。

町長 事業の優先順位等勘案し、県と調整の上最大

限前向な採択になると思う。

宗次 有明海沿岸道路の実現が同意の第一条件と思うが、進捗状況については。

町長 鹿島、諫早間の五十キロの空白区間は、佐賀県の協議会、西部地区の期成会等長崎県知事の応援を受け、候補路線の方向で進むと思う。

宗次 国道と広域農道のアクセスは、牛尾呂線の津の浦附近と思うが、事業費五十%町負担分は、振興策で軽減されるのか。

建設課長 概略設計の必要から、調査委託の補正で事業費が決まれば、交付金事業により町負担分は振興策となる。

人材育成について

宗次 職業の垣根を越えた集いの場設立によって行政、地域づくりに積極的に参画する人材育成の考えはないか。

町長 住民との協働推進を図る点から、地域づくりに参画する人材育成は、重要であるから支援に努める。

議会のあゆみ

日付	内容	日付	内容
7・2	高校総体打合せ会	8・28	長会
7・3	佐賀県町村議	8・29	社協理事会
7・4	会長行政視察	8・30	衛生施設組合議会
7・5	海開き式	8・31	九月議会議案説明
7・6	青少年育成町民会	9・1	原高繁氏農林大臣 賞受賞祝賀会
7・9	議総会	9・4	議会運営委員会
7・10	山形運営委員会	9・5	全議員研修会
7・11	議総会だより編集委 員会	9・7	九月議会招集 議員全員協議会
7・12	多良地区広域農道 推進協議会通常総 会	9・11	本会議 (一般質問)
7・13	山開き式	9・14	本会議 (議案審議)
7・17	有明海沿岸道路等 期成会総会	9・16	多良小、大浦中運 動会
7・20	議員全員協議会	9・23	大浦小運動会
7・23	議総会だより編集委 員会	9・28	国保運営委員会
8・4	一期目議員勉強会		
8・7	一期目議員勉強会		
8・13	臨時議会		
8・16	夏季点検 政経セミナー		
8・17	政経セミナー		
8・21	議総会だより編集委 員会		
8・22	一期目議員研修会		
8・23	一期目議員研修会		
8・24	一期目議員研修会		

平成19年4月～9月分議長交際費の支出状況

区分	支出日	支出金額(円)	支出の相手方、行事名
御祝	5月17日	5,000	自衛隊父兄会総会に際しての祝儀
	5月17日	5,000	防衛協会総会に際しての祝儀
	5月27日	5,000	鹿島ガタリンピック開催に伴う祝儀
	6月4日	5,000	竹崎カニ旅館組合総会に際しての祝儀
	6月26日	5,000	佐賀県有明海漁協たら支所給油施設落成式に際しての祝儀
	9月1日	5,000	原高繁氏「農林水産大臣賞」祝賀会会費
会費	5月22日	10,000	国会議員との懇談会会費(議長/副議長)
	5月28日	5,000	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会意見交換会会費
	7月2日	5,000	全国高校総体体育大会役員との懇談会会費
	7月3日	5,000	佐賀県町村議会議長会行政視察会費
	8月23日	3,000	佐賀県知事との懇話会会費
贈呈品	8月24日	5,000	佐賀県町村議会議長会意見交換会会費
	7月11日	6,000	長崎県知事、議長との地域振興策について協議時の土産代
合計		69,000	



(左から) 山口 巖・牟田 則雄・木下 繁義
見陣 泰幸・所賀 廣・平古場公子 各議員

編集室より

七月の改選で、新人四人が選任され、六人の編集委員で議会だよりを発刊致します。

町民皆様のご愛読の程を、よろしく願います。暑さ寒さも彼岸まで、と言言葉聞いておりますが、世界の人口増加と、文明の発展により、地球環境異変で、地球温暖化が進み例をみない猛暑でありました。日本一ノリ種付けも今年、大分遅れるようすが今年も、日本一ノリが出来よう期待します。

編集委員会

- 委員長 木下 繁義
- 副委員長 見陣 泰幸
- 委員 牟田 則雄
- 委員 山口 巖
- 委員 所賀 廣
- 委員 平古場 公子